

バイオマス産業都市構想策定事業

目的

地域に存在する家畜ふん尿バイオマスを中心とした原料に、収集・運搬、製造、利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業の創出と地域循環型エネルギーの強化により環境にやさしい街づくりを目指すことを目的とした「バイオマス産業都市構想」を策定するために必要な調査を行う。

課題・目標

《課題》

- 畜排せつ物の適正処理(完熟堆肥化)が困難
- ①多頭化による処理能力超過(草地・施設)
  - ②家畜ふん尿処理施設の老朽化
  - ③労働力不足(担い手の確保)



農村部において家畜ふん尿対策は最重要課題

再生可能エネルギー導入の視点による  
地域課題の解決  
“地域エネルギーの創生と農業振興”  
(八雲町再生可能エネルギー導入促進ビジョン)

《目標》

- ①新たな産業の構築・雇用の確保
- ②新たな農業による地域ブランド化
- ③再生可能エネルギーの自給
- ④持続可能な社会の実現
- ⑤地球温暖化の防止



経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指す「バイオマス産業都市」を策定

事業内容

**H29年度** 基礎データの整理

- ・酪農畜産農家、関係機関向け勉強会の開催
- ・アンケート調査、ヒアリング
- ・北海道電力系統連携調査
- ・バイオガスプラントシミュレーション  
(立地、規模等)

[事業費：5,003 千円(道補助 1,586 千円)]

**H30年度** アウトラインの構築・基本設計

- ・事業対象地域の選定
- ・必要な施設規模、建設適地の選定
- ・資材運搬範囲、手法等の共同集約型施設運用のシミュレート
- ・事業収支計画、建設コスト、ランニングコストの試算
- ・地域モデルプランの策定

[事業費：4,782 千円(道補助 2,391 千円)]

**H31年度** 構想の策定・具体化

- ・地域バイオマス利用の現状・課題整理
- ・事業化プロジェクト調査
- ・地域波及効果調査

[事業費(予定)：3,474 千円]



バイオマス産業都市構想認定申請(7月)

構想認定後

構想認定後、これまでの調査結果をもとに、設備の実設計及び資金確保等を行い、バイオガスプラント導入に向けた準備を行う。その後バイオマス産業都市、地域バイオマス利活用施設整備事業等を活用し、ハード整備を実施する予定。